

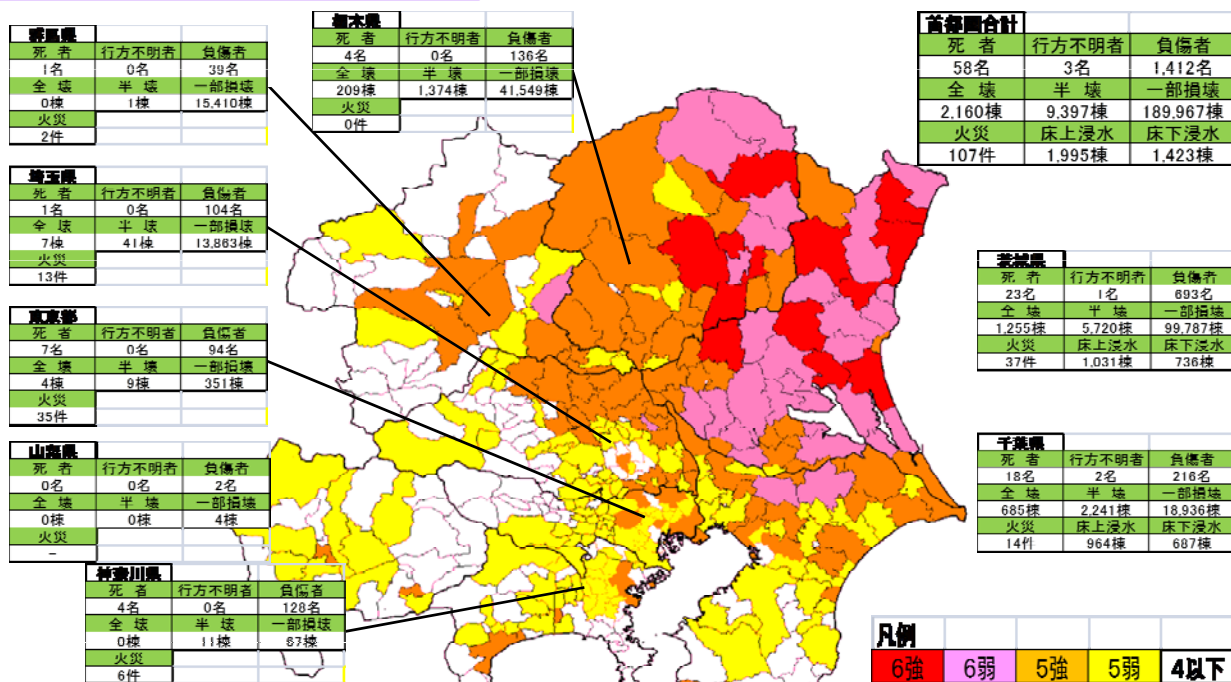
首都圏における東日本大震災 の被害状況について

国土交通省 国土計画局
平成23年6月

首都圏における東日本大震災の被害状況について①

- 首都圏でも最大震度6強の強い揺れを観測、東京23区においてもほぼ全ての区で震度5弱以上を観測。
(震度6弱以上を観測し、圏域のほぼ全域で強い揺れを観測したのは、1923年の関東大震災以来のこと。)
- この影響により、広い範囲にわたり液状化現象や津波が発生。
- 被害は死者・行方不明者61名、住宅の全・半壊11,557棟にも及び、このほか社会資本、企業の生産設備にも被害。
- 複数の発電所の運転停止に伴い、東京電力の電力供給能力が低下し、3月14日から計画停電が実施された。

首都圏被害の概況



資料: 震度については、気象庁報道発表資料(H23.3.30)、人的被害及び建物の被害の状況については、消防庁災害対策本部「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(第115報)」(H23.4.28)及び山梨県「東北地方太平洋沖地震による被害状況」(H23.3.16)、床上・床下浸水については、千葉県「平成23年東北地方太平洋沖地震について(87報)」(H23.4.28)、茨城県住宅被害状況(H23.4.28)より、国土計画局作成

電力供給の低下

東京電力は、複数の発電所が被災により運転停止したため、予想される電力需要に対する電力供給を行うことができなくなった。このため、首都圏における予見性のない大規模停電を回避するべく、3月14日から計画停電を実施した。

○計画停電の概要

- ・実施期間
3月14日～4月8日
- ・対象地域
首都圏のほぼ全域（荒川区・足立区以外の東京23区は除く）
- ・実施方法
対象地域を5グループに分割し、グループごとに1回3時間の停電を輪番で実施

首都圏における東日本大震災の被害状況について②

直轄管理河川の被災	920箇所 (4月28日現在、国土交通省調べ)
海岸保全施設の被災	茨城県及び千葉県において、47箇所 (4月28日現在、国土交通省調べ)
港湾の被災	国際戦略港湾 3港 国際拠点港湾 1港 重要港湾 6港 地方港湾 7港 (4月28日現在、国土交通省調べ)
下水道関係の被災	下水処理施設の稼働停止 3箇所 (茨城県及び東京都) (3月16日時点、国土交通省調べ) 管渠 60市町村等の下水管46,990kmのうち、318kmで被災 (4月28日現在、国土交通省調べ)
道路の被災総数	高速道路 9路線、直轄国道 11区間 都道府県等管理国道 40区間、都道府県道等 137区間 (4月28日現在、国土交通省調べ)
津波による浸水面積	茨城県：23km ² 、千葉県：17km ² (4月18日現在、国土地理院調べ)